

整備内容シートについての意見案(意見書作業部会とりまとめ案)への (031019版)

注 1

第25回委員会(9/30)にて意見書は下記の4部構成とすることが決まっており、本意見案は、「」のなかの整備内容シートに関する意見にあたります。

<淀川水系河川整備計画基礎原案についての意見書の構成>

河川整備の方針について（基礎原案1～4章について）

河川整備の内容について（基礎原案5章（整備内容シートを含む）について）

計画策定における住民意見の反映について

部会意見

注 2

「実施／検討」の欄は整備内容シートのスケジュール欄の内容を庶務が転記したものです。

整備内容シートについての意見案(意見書作業部会とりまとめ案)への委員からの意見 (2003. 10. 22 17:30現在)

※各シートの最上段にとりまとめ案を、2段目以降にとりまとめ案に対して寄せられた委員意見を掲載しています。

【河川整備計画策定・推進】

現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見案	委員名
計画-1	5.1.2	河川レンジャー	淀川水系	検討試行	河川レンジャー計画の検討試行は「可」と判断する。河川レンジャーの拠点を速やかに整備し、実施に向けて早期に検討・試行を重ねるべきである。河川レンジャーの境遇や権限・役割等は、住民参加型の「河川レンジャー検討委員会(仮称)」を設立しその中で検討し、河川レンジャー制度設置以前に定めておく必要がある。なお、河川レンジャーの人材育成に力を注がなければならないことはいうまでもない。当面、地域と密接に関わる産業者や流域住民等を採用すればよい。	-
					河川レンジャー計画の検討試行は「可」と判断する。河川レンジャーの拠点を速やかに整備し、実施に向けて早期に検討・試行を重ねるべきである。河川レンジャーの境遇資格や権限・役割等は、住民参加型の「河川レンジャー検討委員会(仮称)」を設立しその中で検討し、河川レンジャー制度設置以前に定めておく必要がある。	倉田

【河川環境】

現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見案	
環境-3	5.2.1	横断方向の河川形状の修復を実施(楠葉地区)	淀川	実施	<p>湛水域で3地区(赤川、海老江、西中島)流水域で4地区(庭窪、楠葉、牧野、鵜殿)が挙げられているが、七つの地区全体に共通して述べられていることは「事業効果の表現」について効果を断言するような、例えば「創出する」「改善する」「復元する」の表現を改める必要がある。これらは例えば「創出が期待される」とか「改善が期待される」などに変えるのが適当である。</p> <p>また、具体的検討手法に示された検討手順の流れの中に、「事後調査の計画及びその検討」を追加する必要がある。これは環境-1、3/4の『全国で統一的に行うモニタリングの例「河川水辺の国勢調査」』で示された調査手法がモニタリングの手法として広く用いられている場合が多いことによる。モニタリング調査計画は現場の状況にあわせて立てられるのが当たり前で、従って、場所によって調査計画は異なるものである。モニタリング項目や評価基準表などの形でこの辺りに触れる必要がある。</p> <p>楠葉地区:実施で可。成功・不成功的判定にはかなり長時間が必要であることを明記すべきである。素掘りと簡単な水制工をもつ現場はモデルケースになろうとの期待も寄せられている。</p>	-
					楠葉地区:実施で可。成功・不成功的判定にはかなり長時間が必要であることを明記すべきである。素掘りと簡単な水制工をもつ現場はモデルケースの1つになろうとの期待も寄せられている。	紀平

現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見案	委員名
環境-4	5.2.1	横断方向の河川形状の修復を実施(牧野地区)	淀川	実施	<p>湛水域で3地区(赤川、海老江、西中島)流水域で4地区(庭窪、楠葉、牧野、鵜殿)が挙げられているが、七つの地区全体に共通して述べられていることは「事業効果の表現」について効果を断言するような、例えば「創出する」「改善する」「復元する」の表現を改める必要がある。これらは例えば「創出が期待される」とか「改善が期待される」などに変えるのが適当である。</p> <p>また、具体的検討手法に示された検討手順の流れの中に、「事後調査の計画及びその検討」を追加する必要がある。これは環境-1、3/4の『全国で統一的に行うモニタリングの例「河川水辺の国勢調査』で示された調査手法がモニタリングの手法として広く用いられている場合が多いことによる。モニタリング調査計画は現場の状況にあわせて立てられるのが当たり前で、従って、場所によって調査計画は異なるものである。モニタリング項目や評価基準表などの形でこの辺りに触れる必要がある。</p> <p>牧野地区：実施で可。淀川上流域での魚貝供給源の再生を評価する。</p>	-
					牧野地区：実施で可。淀川上流域での魚貝類などの供給源としてのワンド群再生を評価する。	紀平
環境-11	5.2.1	横断方向の河川形状の修復の検討(水無瀬)	淀川	検討／淀川環境委員会	<p>流水域で3地区(唐崎地区、水無瀬地区、前島地区)、汽水域で1地区(大淀地区)の検討事業が示されている。4地区共通して言えることは、「具体的整備手法」の流れの中に「事後調査の計画・検討」を加えることである。また、モニタリング項目、評価基準表の用意を考える必要もあるだろう。これらは、前項「河川環境のモニタリングの実施と評価」で示した内容を参考して検討されたい。</p> <p>水無瀬地区：検討で可。干陸化した寄り州を切り下げる攪乱を受けやすくすることに賛成であるが、同じような干陸化した寄り素は淀川にまだいくつもあるので、淀川全域を見直す必要がある。</p>	-
					水無瀬地区：検討で可。干陸化した寄り州を切り下げる攪乱を受けやすくすることに賛成であるが、同じような干陸化した寄り素は淀川にまだいくつもあるので、淀川全域を見直す必要がある。	紀平
環境-17	5.2.1	縦断方向の河川形状修復の実施(魚類の遡上・降下)	桂川支川小泉川	実施	<p>縦断方向の河川形状修復の実施(魚類の遡上・降下)事業について 縦断方向の河川形状の修復の実施(魚類の遡上・降下について) 桂川支川小泉川での実施分について</p> <p>本川に接続する小支川で魚や甲殻類の遡上を妨げている落差工に新たに魚道を整備することは大変意義のある取組みである。流域全体からみれば、まず下流から設置が望ましいが、小規模な落差工の修復、魚道のあり方などの例として早急に実施され、モニタリングの結果を生かして、今後の類似事業に役立てていただきたい。また、施工前の生物モニタリングと、施工後の逆遡上・降下の確認が必要である。(淀川環境委員会の検討を待ちたい)</p>	-
					本川に接続する小支川で魚や甲殻類の遡上を妨げている落差工に新たに魚道を整備することは大変意義のある取組みである。流域全体からみれば、まず下流から設置が望ましいが、小規模な落差工の修復、魚道のあり方などの例として早急に実施され、モニタリングの結果を生かして、今後の類似事業に役立てていただきたい。また、施工前の生物モニタリングと、施工後の逆遡上・降下の効果の確認が必要である。(淀川環境委員会の検討を待ちたい)	紀平

現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見案	委員名
環境-19	5.2.1	縦断方向の河川形状の修復の検討(魚類の遡上・降下)	淀川	検討／淀川環境委員会	検討で可であるが、この方式では維持・管理にコストがかかりすぎるのではないか。魚道関係の専門家の意見を十分聴取することを改めて要請したい。また、毛馬閘門を用いた地域との連携に期待したい、つまり、調査等に住民の参加を呼びかけて事業の意味を地域に還元してほしいのである。	-
					<最終行に追加> 閘門と放水路の入れかえなどの改修も視野に入れた上での魚道の検討をお願いしたい。	紀平

【治水・防災】

現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見案	
治水-17	5.3.1.(2)	琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減	瀬田川、宇治川	実施／検討	<p>この事業は、次の事業から構成されている。</p> <p>①瀬田川下流掘削；実施…可 ②鹿跳渓谷区間；検討…可 ③天ヶ瀬ダム再開発；検討…可 ④宇治川河道掘削；検討…可 ⑤バイパス水路の活用；検討H17より実施…可</p> <p>これらの事業が完成して治水事業17の目的が達成されることになっている。いずれも実施可あるいは検討可ではあるが、つぎのような課題を明らかにすべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬田川下流1.6kmを掘削すると、それなりの治水効果はあるものの、既往最大規模の出水時には、大戸川および他の渓流からの土砂流出により、急激な河床上昇が起こり、掘削による機能が保証されないことが予想される。したがって、洪水超過能力の評価に際しては、土砂流出を考慮した計算を実施し、それに基づいて掘削の意義を明らかにしておくことが重要。 ・琵琶湖のピーク水位を低下できること、および湖岸の浸水日数が減少することの意味を十分に検討すること ・鹿跳渓谷は「鹿跳・来浙の鍋穴」として滋賀県の天然記念物に指定されており、整備の方向性については検討に検討を重ねること。 	-
					・鹿跳渓谷は「鹿跳・来浙の鍋穴」として滋賀県の天然記念物に指定されており、整備の方向性については検討慎重	倉田